

平成21年6月2日

## 商品市場監視に関する英国金融サービス機構（FSA）との 枠組合意の署名について

経済産業省及び農林水産省は、英国金融サービス機構（FSA）（以下「両当局」という。）と、「商品先物市場の監視等に関する枠組合意」に署名しました。

今後、両当局は、本合意に基づいて、市場監視を一層強化します。

### 1. 枠組合意の背景

近年、世界的な規模の資金移動が活発化し、商品市場への流入も増大していることから、実需と著しく乖離した不当な価格形成が行われたり、複数の市場を利用した共通商品についての相場操縦行為が行われるおそれが生じています。

このような背景のもと、昨年7月の北海道洞爺湖サミット首脳宣言において、「商品先物市場の透明性の向上のための各国の関連当局の努力を歓迎し、関係当局の間の更なる協力を奨励する。」旨合意されたところです。

### 2. 「商品先物市場の監視等に関する枠組合意」の主な内容

商品先物市場及び店頭商品デリバティブ市場におけるクロスボーダー取引（国境を越えた取引）の市場監視を強化するため、両当局は、それぞれの法令に基づき、次の取組を行います。

1. 国境を越えた市場アクセス、市場の監視・監督、市場及び店頭取引の一層の透明性等の課題など商品デリバティブ市場に関する規制について政策及び状況についての情報交換
2. 投資者保護及び市場の公正性を高めるため、国境を越えて行われる法令違反の発見・防止手法等の情報（監督・法執行のための企業又は個人の個別情報を除く）についての情報交換を強化
3. 両当局は、上述の協力を進めていくために、定期的に協議を実施

### 3. 署名者

経済産業省 小山 智 商務課長

農林水産省 大山 誠一郎 商品取引監理官

英国金融サービス機構 アレクサンダー・ジャッサム ( Alexander  
Justham ) 市場課長

( 本発表資料のお問い合わせ先 )

商務流通グループ 商務課長 小山 智

担当者： 中野

電 話： 0 3 - 3 5 0 1 - 1 5 1 1 ( 内線 4 2 1 1 )

0 3 - 3 5 0 1 - 6 6 8 3 ( 直通 )

( 参考 1 )

G 8 北海道洞爺湖サミット首脳宣言 ( 仮訳 ) ( 抄 )

1 4 . ( 中略 ) 我々はまた、商品先物市場の透明性の向上のための各国の関連当局の努力を歓迎し、関連当局の間の更なる協力を奨励する。

( 平成 2 0 年 7 月 8 日 )

( 参考 2 )

安心実現のための緊急総合対策 ( 抄 )

原油市場等の透明性の向上

- ・ 各国との市場監視協力体制の構築、商品投資状況のモニター及びこのための関係省庁会議の設置等を通じた、原油、農産物等の商品先物市場の透明性向上

( 平成 2 0 年 8 月 2 9 日 )

( 参考 3 )

証券監督者国際機構 ( IOSCO ) 商品先物市場タスクフォースによる商品先物市場に関する最終報告書 ( 抄 )

各国規制当局は、商品市場における市場監視、複数市場をまたいだデータの分析、調査・捜査方法及び法執行案件について、その実績や懸案事項を定期的に協議して共有化を図るべき。

( 平成 2 1 年 3 月 5 日 )

Terms of Reference for Cooperation and Collaboration between the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) and the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) of Japan, and the Financial Services Authority (FSA)

The Japanese side (MAFF and METI) and the United Kingdom side (FSA) (hereinafter referred to as “both sides”), aim to work together to enhance cooperation and collaboration with a view to promoting customer protection, fostering market integrity, and facilitating the supervision of exchange-traded and over-the-counter (OTC) commodity derivatives that operate on a cross-border basis between Japan and the United Kingdom (UK). To this end, this document sets forth terms of reference for cooperation and collaboration between both sides.

The collaboration between both sides takes into account a number of global trends, including:

- the July 2008 leaders’ statement of the G8 Hokkaido Toyako Summit, which welcomes the efforts taken by relevant national authorities for increased transparency of commodity futures markets and encourages further cooperation between them;
- the expansion of commodity derivatives markets in both Japan and the United Kingdom; and
- the electronic integration of global markets and the demand by market users for open and efficient access to such markets, and the challenge this poses for regulators to explore cooperatively practical measures to facilitate access while maintaining appropriate customer and market protections.

**TO ACHIEVE** our mutual goal of strengthening market surveillance of cross-border trading in the commodity derivatives markets both of exchange and OTC, both sides decide to take the following steps in accordance with Japanese and the UK laws and regulations:

1. Both sides will identify and exchange information on regulatory policies and practices in the commodity derivatives markets of common interest, particularly as such issues might relate to cross-border market access, oversight and surveillance, and enhanced transparency of trading on exchange and OTC markets;
2. Both sides will improve cooperation on the exchange of non-supervisory (firm or individual specific) information in the detection and prevention of cross-border enforcement violations in order to promote customer protection and market integrity; and
3. Both sides will have a consultation meeting on a regular basis in order to strengthen cooperation on the issues set forth in the foregoing items above.

Signed

FOR THE MINISTRY OF  
AGRICULTURE, FORESTRY AND  
FISHERIES OF JAPAN:

大山 誠一郎

Commodity Investment Affairs Official

FOR THE FINANCIAL SERVICES  
AUTHORITY OF THE UNITED  
KINGDOM:



Director for Markets Division

Date: May 18 2009

Date: May 26, 2009.

FOR THE MINISTRY OF ECONOMY,  
TRADE AND INDUSTRY OF JAPAN:

小山 智

Director for Commodity Derivatives  
Division

Date: May 18, 2009

日本国農林水産省、経済産業省と英国金融サービス機構の協力  
及び協働についての枠組合意 (Terms of Reference)

日本国農林水産省(MAFF)、経済産業省(METI)及び英国金融サービス機構(英FSA)(以下「両当局」という。)は、投資者保護の推進、市場の公正性の向上及び日英の国境を超えた商品先物市場における市場取引及び店頭商品デリバティブ取引の監督の円滑化の観点から、協力及び協働を強めるため共に作業する。この目標のため、この文書は両当局の協力及び協働の作業の進め方を記述する。

両当局の協働は、以下の国際的な動向を考慮に入れるものである。

- 商品先物市場の透明性向上と各国当局間の更なる協力を行う旨の2008年7月の洞爺湖サミットにおける宣言
- 日英双方における商品デリバティブ市場の拡大
- 電子的な世界市場の統合、これら市場への開かれた効率的な市場アクセスを求める市場参加者の要請、そして投資家及び市場の保護を保ちつつ、市場参加促進のための現実的な協力的対策を模索するという当局の課題

商品先物市場及び店頭商品デリバティブ市場における国境を越えた取引の市場監視を強めるという共通目的を達成するため、両当局は、双方の法律に基づき、次の段階ごとの行動を取っていく。

1. 両当局は、共通の関心事項である商品デリバティブ市場に関する規制について政策及び状況について情報交換を行う。特に、国境を越えた市場アクセス、市場の監視・監督、市場及び店頭取引の一層の透明性等の課題等について行うものとする。
2. 両当局は、投資者保護及び市場の公正性を高めるため、国境を越えて行われる法令違反の発見・防止手法等の情報(監督・法執行のための企業又は個人の個別情報を除く)について交換に関する協力を促進する。
3. 両当局は、上述の協力を進めていくために、定期的な会合を設ける。

日本国

英国

農林水産省  
商品取引監理官

英国金融サービス機構  
市場局長名

経済産業省  
商務課長